

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	保健課	事業No.	332
事務事業名		会計	後期高齢者医療特別会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始	H20	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等			高齢者の医療の確保に関する法律、同施行令、同施行規則等 飯田市後期高齢者医療に関する条例 飯田市後期高齢者医療に関する規則	
事業目的	対象	65歳以上認定者と75才以上高齢者			
	意図	収納率を上げるにより安定的な財源確保を行い、対象への適切かつ継続的な保険給付につなげます。			

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	県内全市町村が加入して設立された長野県後期高齢者医療広域連合で運営される高齢者の医療制度です。 財源は、本人保険料1割、若い人からの支援金4割、公費5割。保険料は、県内統一の料率であり、所得による軽減措置があります。 保険給付、保険資格の管理等の業務は、長野県後期高齢者広域連合で行われます。市では、保険料徴収、各種申請受付、制度PRを受け持ちます。 市は特別会計を設置して、保険料の徴収及び一般会計からの繰入金で広域連合負担金をまかないます。		人件費					21,488			
			会計年度任用職員					1,679			
			一般管理費					1,965			
			賦課徴収費					8,926			
			後期高齢者医療広域連合納付金					1,414,962			
			保険料還付金					812			
			予備費					0			
					その他の経費		0				
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	被保険者数	人	18,000	17,954	18,000	18,087	18,100	18,262	18,200	18,182	
	保険料収納額	千円	992,450	1,040,917	992,450	1,083,582	1,109,992	1,142,461	1,188,832	1,170,595	
2年度決算(千円)	予算額	1,485,724	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	1,449,832	(そ) 保険基盤安定繰入金 258,577千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 事務費繰入金 34,059千円							
		県支出金	0	平成30-令和元年度の保険料は均等割額40,907円+所得割率8.30% 上限62万円							
		地方債	0	令和2-令和3年度の保険料は均等割額40,907円+所得割率8.43% 上限64万円							
その他		292,636	保険料は、7, 5, 2割の軽減があり、軽減分として3/4が県から基盤安定として交付(市負担1/4)								
	一般財源	1,157,196									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	20	1	1	1	1	1	22,799	21,488	人件費
2	20	1	1	1	1	3	1,736	1,679	会計年度任用職員
3	20	1	1	1	10	1	2,114	1,965	一般管理費
4	20	1	2	1	10	1	9,565	8,926	賦課徴収費
5	20	2	1	1	10	1	1,447,410	1,414,962	後期高齢者医療広域連合納付金
6	20	3	1	1	10	1	2,000	812	保険料還付金
7	20	4	1	1	10	1	100	0	予備費
振り返り課題認識	加入者および医療費が年々増加しています。 保険料の限度額の上昇、軽減特例の段階的廃止など、被保険者の負担が増加してきています。								
上記の課題解決のための有効策	広報などを通じ制度を周知するほか、問い合わせの際には丁寧な説明をしてご理解をいただきます。 徴収部門と連携して収納率の向上も必要です。								
次年度に向けての取り組み	軽減特例の段階的廃止が行われるため、引き続き、広報や保険証の更新時に制度の案内を同封するなどの制度周知や、徴収部門との連携を行っていきます。								